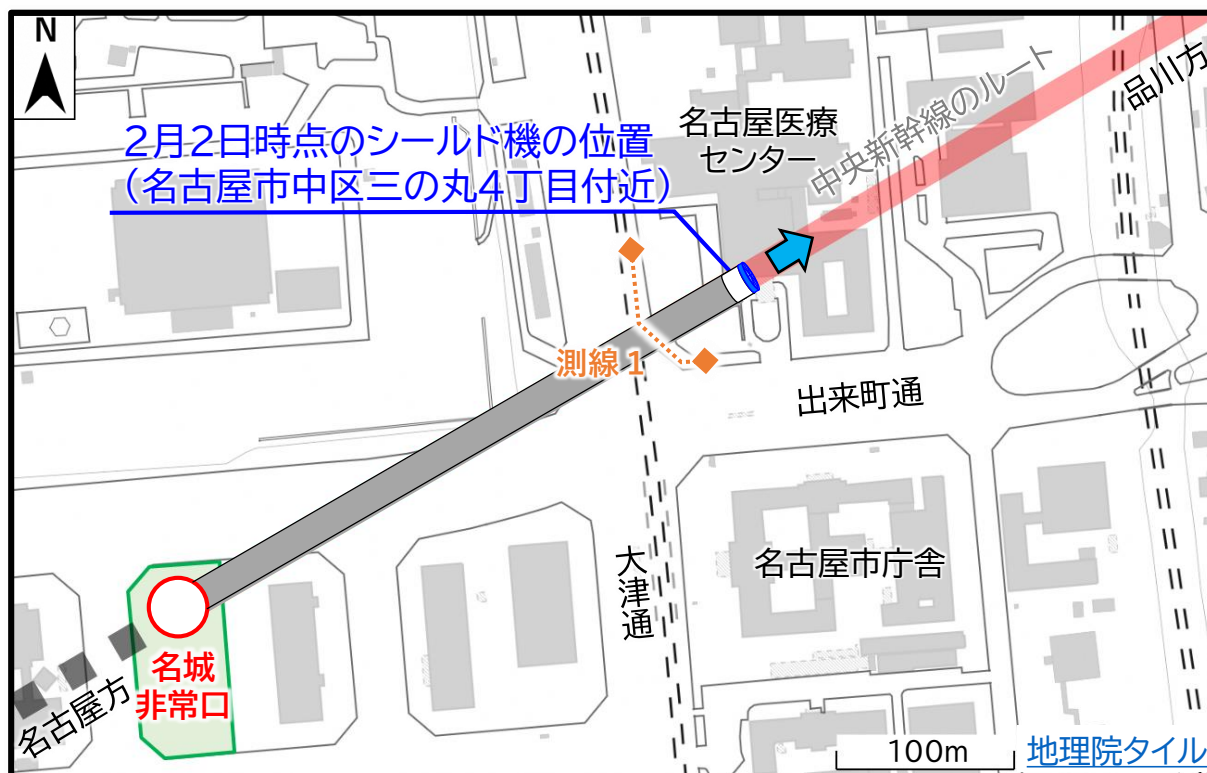


# 第一中京圏トンネル(名城工区)

## シールド掘進工事(本格的な掘進)の地表面変位計測結果



### 【計測結果※1】

計測値は、目安値である $1/1000\text{rad}$ を下回っており、シールド機の掘進による建築物に影響を与えるような変位は確認されませんでした。

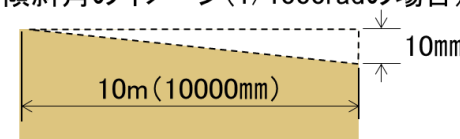
計測箇所	最大鉛直変位※2	最大傾斜角※2	目安値
測線1	±2mm	$0.4/1000\text{rad}$	$1/1000\text{rad}$

※1 計測はシールド機が測線の前後を通過する一定の期間に実施しました  
計測結果には測量誤差が含まれます

※2 計測期間における最大値を示しています

### 参考

【傾斜角のイメージ( $1/1000\text{rad}$ の場合)】



○ 建築物に関する傾斜角と機能的障害程度の関係

傾斜角	障害程度
$4/1000\text{rad}$	不具合が見られる
$7/1000\text{rad}$	建具が自然に動くのが顕著に見られる
$17/1000\text{rad}$	生理的な限界値

小規模建築物設計指針(2008年 日本建築学会)一部抜粋